

## 基本目標6 環境教育を通じた環境の人づくり

本県の豊かな自然環境を将来世代へ継承するとともに、限りある資源を有効に活用し、持続可能な社会を形成していくためには、すべての県民が環境との関わりについての正しい認識と理解を深め、日常生活や事業活動において自らが率先して環境に配慮した行動を実践していくことが不可欠です。

このため、本県では、本県の環境行政施策の基本計画である「第3次山形県環境計画」において、環境学習・環境保全活動への参加者数を令和2年度までに年間16万7千人とすることを目標に掲げ、やまがた緑環境税を活用した県民参加の森づくり活動の推進や環境学習支援団体の認定（環境の保全に関する情報の提供や、体験の機会の提供等を通じて、県民の環境学習を支援している民間団体を知事が認定するもの）、環境科学研究センターの利用促進などに取り組んでいます。

こうした取組みにより、環境学習・環境保全活動への参加者数は、平成29年度に16万7千人となり目標を前倒しで達成し、平成30年度には17万4千人、令和元年度末には、17万6千人となりました。

### 1 山形県環境教育行動計画

- 「第3次山形県環境計画」の分野別計画として「山形県環境教育行動計画」を平成25年3月に策定し、学校、地域等幅広い場における環境教育や、環境保全の意欲の増進などに取り組んでいます。
- 平成30年3月には、施策の進捗状況や、平成29年3月に中間見直しを行った「第3次山形県環境計画」の内容を踏まえ、中間見直しを行いました。

### 2 環境教育の推進

#### (1) 環境学習プログラムの整備

- 小学生を主な対象として、室内学習のほか、地域の森林、里山等での体験学習も取り入れながら環境について効果的に学ぶ「環境学習プログラム」を次の9つのテーマについて作成し、教育委員会等に紹介するとともに、環境科学研究センターの環境教室などにおいて活用しています。

①地球温暖化	②ごみ減量、リサイクル	③自然との共生
④再生可能エネルギー	⑤生物多様性（外来生物・動物編）	⑥水資源保全
⑦食品ロス	⑧生物多様性（外来生物・植物編）	⑨海ごみと私たちの生活

#### (2) 山形県環境学習支援団体の認定

- 環境の保全に関する情報の提供や体験機会の提供などを通じて、県民の皆さんの環境学習を支援している民間団体を認定し、広く紹介することにより環境学習の機会の拡大を図り、環境保全の意欲増進を図ることを目的として、平成16年度から認定を行っています。令和元年度末現在41団体を認定し、県ホームページ等において各認定団体の活動について紹介しています。

令和元年度新規認定団体	環境学習の概要
特定非営利活動法人山と川の学校（最上町）	「子ども体験の森」での、きのこ植菌、炭焼き体験、枝打ちや除伐などの林業体験等を通し、森林環境の保全について学ぶことができる。
特定非営利活動法人美しいやまがた森林活動支援センター（南陽市）	「やまがた大森林祭」の開催や、森林案内、バイオマス体験活動等を行っており、木育や森林の効用等を通し、循環型の生き方や環境保全について学ぶことができる。
合同会社 JRE 酒田風力（酒田市）	酒田北港地区にある、風力発電設備や太陽光発電設備の見学を通し、再生エネルギーの仕組みについて学ぶことができる。
特定非営利活動法人ひらた里山の会（酒田市）	竹林整備や竹炭作り、「悠々の杜」での遊歩道づくり等の体験活動を通して、里山の役割や自然環境の豊かさ、環境保全の大切さを学ぶことができる。

- 令和元年度は、山形県環境学習支援団体が共同して「令和元年やまがた環境展」にブース出展し、来場者に環境学習を体験いただいたほか、活動内容をPRしました。

### (3) 「やまがた木育」の取組み

- 平成30年3月に「やまがた木育推進方針」を策定し、「森や自然の大切さを学び、森や木の文化を見つめ直し、森や自然の恵みに感謝し、自然との共生の文化を理解・共感できる豊かな心を育み、森との絆を深め、暮らしの中に木を活かしていくこと」を「やまがた木育」と決めました。
- 令和元年度は、未就学児向け「木育絵本」の増刷・配布、小学校低学年向け「木育ブック」と「木育クラフト」の作成・実践、小学校高学年向け副教材「やまがたの森林」とポケット版教材「森のたんけん手帳」を増刷・配布しました。  
また、「やまがた木育」の裾野を広げるため、やまがた木育人材養成講座【スタートアップ】を開催しました。



やまがた木育人材養成講座【スタートアップ】

### (4) 山形県環境科学研究センターの取組み

- 環境科学研究センターは、環境モニタリング、試験研究、人材育成等の機能とともに、環境教育拠点施設として、県民による自主的で活発な環境保全活動が展開されるよう施設を開放し、親子で楽しむ環境科学体験デーや夏休み親子科学教室を開催しています。また、環境教育教材の貸出し、出前講座、環境アドバイザー等の派遣、水生生物調査への参加呼びかけなどを通じ、環境意識の醸成を図っています。加えて、県内で行われる環境関連イベントなどについて、ホームページやSNSで情報発信しています。

#### ア 環境教育

環境教育に関する相談窓口の設置、環境情報・自然環境棟における環境関連の図書やDVD等の展示・貸出、体験学習の支援など

#### イ 環境教室

学校、団体、放課後子ども教室・放課後児童クラブなどを対象とした出前講座・所内教室の実施

【令和元年度実績】 93回（2,843名参加）

《講座例》段ボールリサイクル工作、水生生物調査

#### ウ 環境アドバイザー等の派遣



環境教室の様子

環境、エネルギーに関する専門的な知見を有する環境アドバイザーや地球温暖化防止活動推進員の派遣

【令和元年度実績】 78回 (3,596名参加)

《講座例》地球温暖化、リサイクル、水生生物、ネイチャーゲーム、エコクッキング

## エ 親子で楽しむ環境科学体験デー

環境月間（6月）推進事業の一環として、環境への関心を深めるとともに、環境科学研究センターの業務や施設を県民に知っていただくことを目的に平成15年度から開催

【令和元年度実績】 6月30日開催（入場者延べ347名）

《実施内容》

◆ 「スライムをつくろう!」、「エアカーリング!」などの実験・体験コーナー

◆ 「センター研究施設見学」、「川の生き物観察」などの見学・展示コーナー



環境科学体験デー  
「外来生物を釣って駆除しよう」

## (5) 若者を対象としたSDGsカフェの開催

○ SDGsをキーに、持続可能な環境・社会づくりについて、県民の皆さんに考えていただく機会として、「未来につなげよう!環境問題を考えるSDGsカフェ」を開催しました。山形市と酒田市を会場として計2回開催し、高校生・大学生など若者を中心に、合わせて約60名の方から参加いただき、講演や事例発表、グループワークを通して、これからの環境問題や本県の環境政策について理解を深めました。



環境問題を考えるSDGsカフェ

## 3 環境保全活動の顕彰

- 県では、地球環境又は地域環境の保全と創造に功績のあった方を顕彰する「環境やまがた大賞」事業を実施しています。
- 令和元年度は、次の団体が受賞しました。

受賞区分及び受賞者	功績概要
【環境やまがた大賞】 特定非営利活動法人 飯豊朝日を愛する会	官民協働で、登山により浸食を受けた登山道を補修し、消失した高山草原を復元する「合同保全作業」を行っており、その中で計画立案、参加者募集及び作業実施を担当し、保全活動を主導している。
【環境やまがた大賞】 山形県森林インストラクター会	自ら企画運営をする森林環境教育プログラムを開発し、これを運用し様々なアクティビティを提供しているほか、県内各地の幼稚園や小学校、地域団体等からの依頼により、森の案内や木材を使った体験学習の指導を積極的に行っている。
【環境やまがた奨励賞】 やまがた自然エネルギー ネットワーク	再生可能な山形の資源を使い、安全で持続可能な山形づくりを目指し、バイオマスボイラや薪ストーブの地域への導入支援、太陽光発電所の市民出資やソーラーシェアリングのコーディネート等を行っている。

環境白書は、山形県ホームページでも御覧いただけます。

《県ホームページ掲載先》

ホーム ⇒ くらし・環境 ⇒ 環境・リサイクル  
⇒ 環境教育 ⇒ 山形県の環境白書

《URL》

<https://www.pref.yamagata.jp/050015/kurashi/kankyo/kyoiku/kankyohakusyo/index.html>



～表紙の写真～

「春を泳ぐ」

令和元年度「やまがた百名山」Instagram  
フォトコンテスト 春の季節賞

令和2年度版山形県環境白書  
山形県の環境

令和3年3月発行  
山形県環境エネルギー部環境企画課  
〒990-8570 山形市松波二丁目8番1号  
電話 023-630-2308  
FAX 023-630-2133